

DateName Version 1.0(フリー版)

リネーム&コピーツール

2010/2/28

TECHNICAL ARTS h.godai

godai@techarts.co.jp

目次

1. 概要と特徴	2
2. インストール.....	2
3. 使用方法.....	3
3.1 コピーの実行	4
3.2 設定メニュー	5
3.3 DateNameを直接起動.....	7
3.4 エクスプローラーからファイルを選択して「送る」メニューで起動.....	7
4. 更新履歴.....	8

1. 概要と特徴

DateName は、ファイル名をタイムスタンプの日付にリネームするツールです。デジカメの画像など、ファイル名で撮影日時が識別できるので整理に便利です。

リネーム以外に、コピー機能があります。コピー機能は、たとえば、SD カードのデジカメ画像を PC のフォルダに、ファイル名を日付に変換してコピーするといった使い方ができます。複数のフォルダに分割された大量の画像を一括してコピーするときに便利です。

特徴

- ◇ デジカメ画像などのファイル名を日付と時刻にリネームします。
- ◇ SD カード等から一括して PC のフォルダにファイル名を日付に変更してコピーします。
- ◇ ファイル名の重複によって上書きされる心配がないので、大量の画像を一括コピーできます。
- ◇ 日付情報のない画像ファイル、動画ファイルの場合、編集前に **DateName** を実行しておけば、撮影日時を忘れることはありません。（ファイルのタイムスタンプは編集によって更新されてしまいます。）
- ◇ 画像ファイルを一括してバックアップする時も便利です。（ファイルの重複がないため）

2. インストール

setup.exe を実行し、指示に従ってインストールしてください。

動作環境は、WindowsXP, WindowsVista, Windows7、32bit/64bit の各 OS です。

※64bit 版 Windows は、64bit 版の DateName をインストールしてください。

2.1 サポート

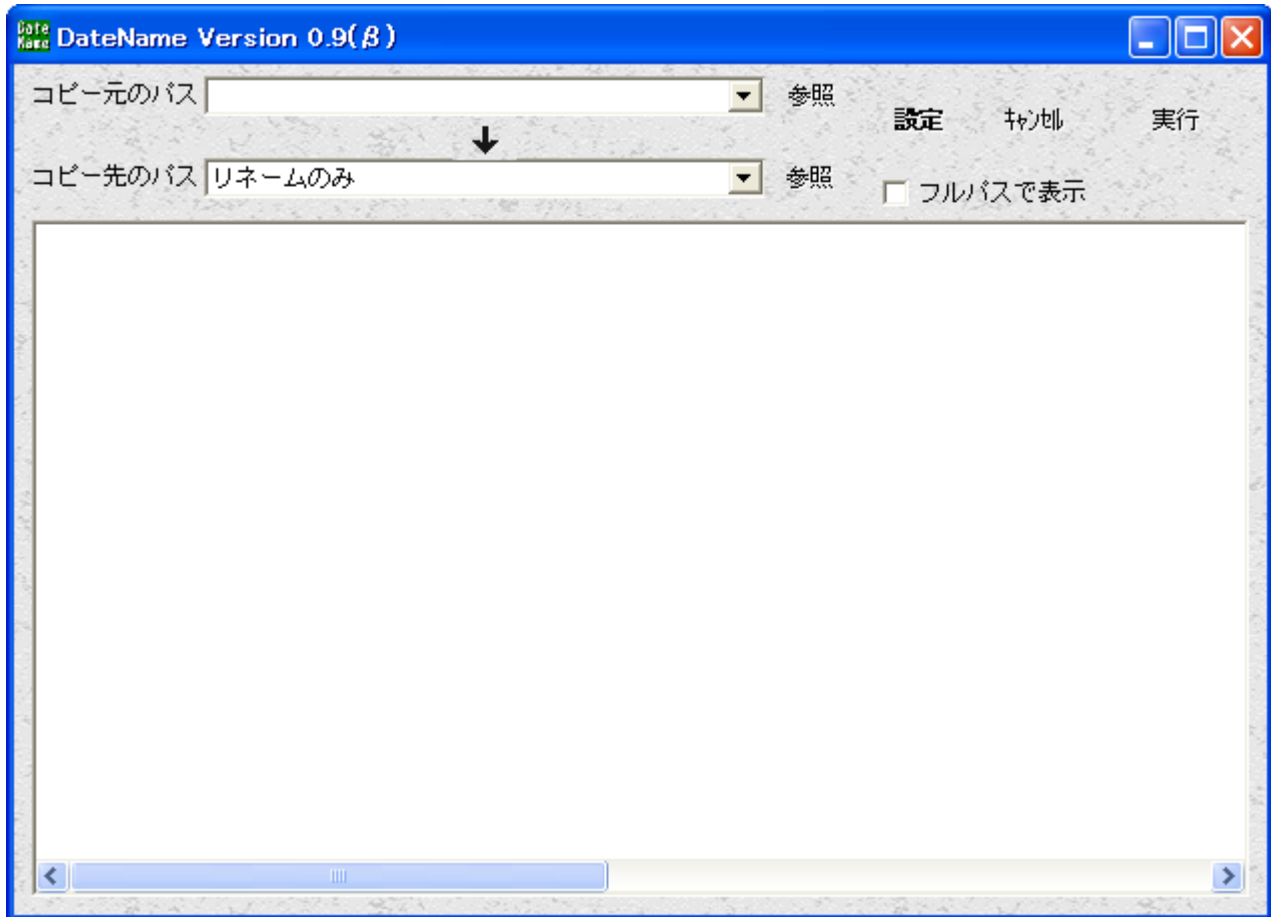
DateName は、以下のホームページでサポートします。不具合やご意見などは下記 URL までお願いします。

DateName サポートページ

<http://scharz.techarts.co.jp/wiki/index.php?DateName>

3. 使用方法

DateName を起動すると、以下のような画面が表示されます。



画面 1 起動直後の画面

- コピー元のパス
フォルダ単位でコピーもしくはリネームを行う場合にフォルダを指定します。「参照」ボタンを押すと、フォルダ選択ダイアログで選択できます。
- コピー先のパス
ファイルをコピーする際に、コピー先のフォルダを指定します。「参照」ボタンを押すと、フォルダ選択ダイアログで選択できます。「リネームのみ」を選択すると、ファイルのリネームが実行されます。
- 設定
各種設定を行います。
- キャンセル

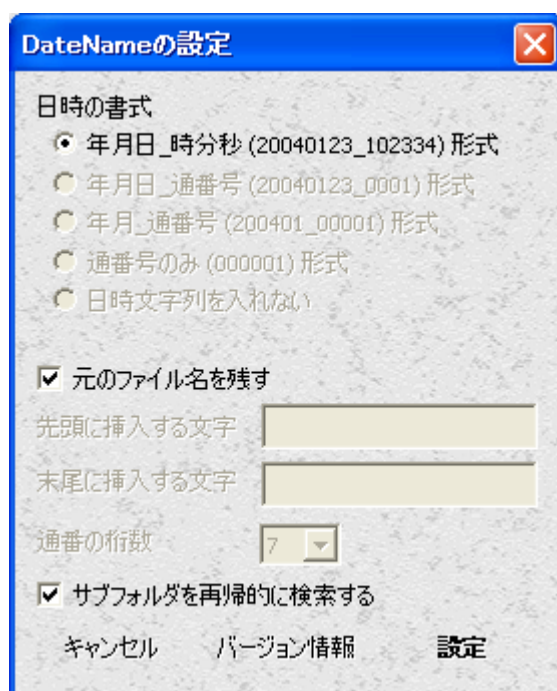
す。

リスト表示されている画面でマウスの右クリック行くと、以下のようなメニューが選択できます。

- 元のファイル名を残す
チェックを入れると、日時の中の元のファイル名が付加されます。チェックを外すと、日時だけのファイルとなります。初期値はオンです。
- 選択したもの以外をリストから削除する
選択されていないものをリストから除外します。選択したものだけコピー・リネームすることができます。
- 選択したものをリストから削除する
選択したものをリストから除外します。コピー・リネームを行いたくないファイルを排除することができます。
- 設定
設定画面を表示します。「設定」ボタンと同じです。
- メニューを閉じる
右クリックメニューを閉じます。

3.2 設定メニュー

「設定」ボタンもしくは右クリックメニューの「設定」を選択すると、下図のような設定画面が表示されます。



画面3 設定メニュー

- 日時の書式
日付をファイル名にする時の書式を選択します。現バージョンでは、YYYYMMDD_HHMMSS の形式のみをサポートしています。
- 元のファイル名を残す
コピー先のファイル名に、元のファイル名を残す場合はチェックを入れます。
例)
チェックあり IMG0001.JPG → 20100101_010203_IMG0001.JPG
チェックなし IMG0001.JPG → 20100101_010203.JPG
- サブフォルダを再帰的に検索する
チェックを入れると、コピー元のフォルダ以下のすべてのサブフォルダを検索します。
- キャンセル
設定を反映させずに終了します。
- バージョン情報
バージョン情報を表示します。
- 設定
設定を反映させて終了します。

3.3 DateNameを直接起動

プログラムメニューもしくはデスクトップアイコンから **DateName** を起動すると、画面1のようなファイルリストが空の画面が表示されます。

「コピー元のフォルダ」でコピー元となるフォルダを選択するか、エクスプローラーからファイルをドラッグ&ドロップすると、リスト画面にコピー元のファイル一覧が表示されます。

ファイルをコピーせずにリネームを行いたい場合は、「コピー先のフォルダ」で「リネームのみ」を選択して実行ボタンを押してください。

ファイルをコピーする場合は、「コピー先のフォルダ」でコピー先を選択し、実行ボタンを押すとコピーが開始されます。

3.4 エクスプローラーからファイルを選択して「送る」メニューで起動

エクスプローラーからファイルを右クリックし、メニューの「送る」から「DateName」を選択すると、エクスプローラーで選択したファイルが読み込まれます。フォルダ右クリックした場合は、そのフォルダ以下のすべてのファイルが読み込まれます。(設定でサブフォルダを再帰的に検索するがオンの場合)

ただし、非常に多くのファイルを選択した場合、DateNameの起動に失敗します。これは、Windowsの制約のため、DateNameの問題ではありません。(他のアプリケーションでも同様の問題がでます) 多くのファイルを一括でリネーム・コピーしたい場合は、フォルダを選択してください。

4. 更新履歴

日付	バージョン	内容
2010/1/26	0.9	ベータ版を公開